

海遊館×ArCSⅡ 共同開催

『北極圏の今を知り、未来へつなげる』

～アザラシからわかること～』

講演会参加者募集

海遊館（大阪市港区）は、2024年3月24日（日）に「ArCSⅡ沿岸環境課題」との共同による講演会『北極圏の今を知り、未来へつなげる ～アザラシからわかること～』を開催し、これに参加希望の方、合計150名を募集します。

「ArCSⅡ（北極域研究加速プロジェクト）」とは、「国立極地研究所」「海洋研究開発機構（JAMSTEC）」「北海道大学」の3機関が中心となり、地球温暖化の影響が最も顕著に現れている北極域について研究することを目的に発足されたプロジェクトで、海洋課題や沿岸環境課題など、研究分野は多岐にわたります。



海遊館は、2018年にArCSⅡの前身である「ArCSⅠ（北極域研究推進プロジェクト）」の事業として実施された北海道大学の練習船

「おしよる丸」での北極航海調査に初めて同行、採集調査を実施し、2023年にArCSⅡ事業として再び実施された「おしよる丸」北極航海調査にも同行しました。

館内「北極圏」水槽では、採集した北極圏生物や北極調査についての解説パネルを展示しています。

本イベントでは、海遊館とArCSⅡがそれぞれ飼育、または研究している「北極圏のアザラシ類」をテーマとし、飼育から得たアザラシの生態、調査研究で判明した野生下のアザラシや自然環境の現状などを、飼育員と研究者がお話しします。

講演内容	： 北半球に生息するアザラシの紹介など	三谷曜子	（京都大学）
（予定）	グリーンランドでのアザラシ調査	櫻木雄太	（北海道大学）
	アザラシの食べ物とイヌイットの毛皮利用	日下稜	（北海道大学）
	海遊館で飼育する北極圏のアザラシ	竹内慧	（海遊館）
	おしよる丸での北極圏調査収集について	村田幹斗	（海遊館）

（敬称略）

【 広報問合せ先 】

取材、素材提供をご希望の場合は、下記へご連絡ください

**海遊館 広報・宣伝チーム (06-6576-5529)**

## 【 『北極圏の今を知り、未来へつなげる ～アザラシからわかること～』 開催概要 】

開催日時 : 2024年3月24日(日) 13:30~16:30

開催場所 : 海遊館エントランスビル2階「海遊館ホール」

定員 : 150名

料金 : 無料(海遊館への入館には別途入館料が必要)

申込方法 : 海遊館ホームページ「ニュース」に記載された応募フォームよりご応募ください。(先着順)

※お申込みに年齢制限はありませんが、中学生以上対象の講演内容です。

その他 : 参加者全員に、ArCS II オリジナルクリアファイルやポストカード、国立極地研究所と北極環境研究コンソーシアムが発行する北極域地図をプレゼントします。



※イベント内容を変更、または実施を中止する場合がございます。その際は海遊館ホームページにてお知らせします。

## 【 共同開催について 】

本イベントは、海遊館と ArCS II 沿岸環境課題が共同で開催します。

・ ArCS II (北極域研究加速プロジェクト)

<https://www.nipr.ac.jp/arcs2/>